

17【街の散策からの気づき発見】

大落古利根川と首都圏外郭放水路第5立杭 散策

会員 K.T.

大落古利根川の私の散歩コースが2つある。4号線の埼玉葛橋を起点とすると、上流コースは川沿いに春日橋・古利根公園橋・新町橋・16号線の春日部大橋を横切り・首都圏外郭放水路第5立杭・小淵橋まで、下流のコースは八幡橋・東武アーバンパークラインの鉄橋を超え、ゆりのき橋・藤塚橋までをMax.にして、そのショートコースをランダムに散策している。大落古利根川は南埼玉郡と北葛飾郡の郡境を画し、「古利根川」という名称が付され、かつては「利根川」の本流だったようだ。「大落」とは大きな農業排水路という意味で、現在も利根大堰からの水が埼玉用水、葛西用水路等を経由し流れ込んでいる。

このため4月～10月は豊富に水が流れ、11月～3月は大きく減少する。現在の大落古利根川の始まりは、久喜市と杉戸町の境の葛西橋からで、青毛堀川と葛西用水が合流している地点である。さらに河道上流は、葛西用水から連続している。大落古利根川の終点は、松伏町下赤岩付近で中川に合流する区間の延長26.7km、流域面積182.3kmの一級河川である。

春日部駅からすぐ近くに川があり、街の中に川が流れ、四季折々の自然の移ろいを感じられるのは、すごく贅沢な事だと思う。他の地域と差別化できる街の資産である。この資産をもっと活用することを考えれば都心からこの街に散策にくる人が増えるのではないかと、川沿いの散策を楽しむ度に思う。

市のお薦めコースは「大落古利根川 リバーウォキング」の名称で、3つ看板に掲示されている。

1) ぶらっとコース : 2.3km 約34分 116kcal

(220m) (190m) (340m) (290m)

新町橋—古利根公園橋—春日橋—埼玉葛橋—八幡橋 / 八幡橋を渡って対岸を戻る

2) のんびりコース: 4.2km 約63分 215cal (930m)

新町橋—古利根公園橋—春日橋—埼玉葛橋—八幡橋—牛島人道橋 / 人道橋を渡って対岸を戻る

3) がんばりコース : 7.9km 約118分 403cal

(690m)

新町橋—古利根公園橋—春日橋—埼玉葛橋—八幡橋—牛島人道橋—(東部野田線鉄橋)—ゆりのき橋—藤塚橋 / 藤塚橋を渡って対岸を戻る

残念なことに、この「大落古利根川 リバーウォキング」の遊歩道は、道路橋で車や信号待ちがある。川の遊歩道は道路橋で途切れないよう、くぐるか、お洒落な歩道橋を設けると、散策のリズムが途切れず、景観もいい、と思う。また、私がたまたま歩く小淵橋散歩コースは、左岸にしか遊歩道が整備されていない。

* 4) 首都圏外郭放水路第5立杭コース (* (注) 私が勝手につけた仮称)

古利根公園橋—新町橋—国道16号線(春日部大橋)—首都圏外郭放水路(彩龍の川)大落古利根川流入施設(第5立杭)—小淵橋—小淵橋を渡って、対岸から第5立杭の取水口を見ながら川沿いの住宅が接近する細い道と市道を歩いて戻る。川の風景には自然を感じるが傍に住宅があるので、右岸のコースはイマイチという感じだ。対岸から取水口をみたら小淵橋から来た道に戻った方がいい。また、約4km、60分程度のこのコースはトイレが古利根公園橋までないので、急用の場合は不便なコースになるかもしれない。

少子高齢化の時代、街の賑わいには外から訪れる入を増やし、街にお金が落ちるのが望ましい。近年、観光客は女性の割合が多くなっている。快適な「リバーウォキングコース」には、公衆トイレの「古い・汚い・臭い・暗い・怖い」のイメージから、「清潔・快適・安心・使いやすい」をキーワードに、トイレ改革も必要と思う。

